

2018年7月実施
第9回
農業簿記検定[®]
③ 級 問 題

注 意 事 項

トイレなど途中退出後の再入室は認めません。試験開始の合図の前までに済ませてください

- 1 試験監督員の指示があるまで、この問題冊子は開かないようにしてください。
- 2 試験中、下記の使用が認められたもの以外は、すべてカバン等にしまい、机の中又は、足元等指定された場所に置いてください。試験中、使用が認められるものは、次のとおりです。
 - ・筆記具（BまたはHBの黒鉛筆/シャープペンシル）・消しゴム・定規・ラインマーカー
 - ・電卓（基準に適合したものに限る。又は算盤）・時計（通信機能を有するものを除く）
- 3 スマートフォン等通信機器を使用することは認めません（時計の代わり又は電卓として使用も不可）。電源を切り、カバン等にしまってください。
- 4 試験監督員の指示に従わない場合、また、周囲に迷惑をかける等、適切な試験の実施に支障を来たす行為を行った場合には、不正受験とみなすことがあります。
- 5 上掲4の場合を含み、不正受験と認められた場合には、直ちに退室を命ずることがあります。
- 6 試験時間は、**1時間30分（90分）**です。試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 7 この問題冊子には、**問題25問まで掲載**しており、**1頁から12頁まで印刷**しています。試験監督員の指示に従い、頁を調べ、印刷不鮮明や落丁等があれば、挙手をして申し出てください。
- 8 解答は、別途配布した解答用紙（マークシート）に記入（該当番号の塗りつぶし）してください。
- 9 問題の内容に関する質問には、一切応じません。
- 10 退室可能時間は、試験開始後30分後から試験終了10分前です。
 - ※退出を希望する場合は、必ず挙手をして、試験監督員が解答用紙を確認し回収するまでは、席を立たないでください。一旦退出後の再入室は、認めません。
- 11 試験終了の合図とともに、直ちに、筆記具を置き、解答用紙を裏返してください。
- 12 試験監督員が解答用紙を回収し、受験番号や氏名等の記載内容を確認した後、退室可能を指示するまでは、席を立たないでください。
- 13 この問題冊子及び計算用紙は、持ち帰ることができます。解答用紙は、持ち帰れません。

主催 一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会

監修 一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会

※“農業簿記検定[®]”は、一般社団法人 全国農業経営コンサルタント協会の登録商標です

問題 1 次の文章の（ア）～（オ）にあてはまる語句の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

簿記の目的は、正しい記帳を行うことにより、一定時点の財政状態と一定期間の経営成績を明らかにすることです。

財政状態は（ア）によって把握することができます。（ア）は、借方で資金の（イ）を表し、貸方で資金の（ウ）を表します。また、経営成績は（エ）によって把握することができます。（エ）で計算される利益または損失は、一定期間に得た収益から、収益を得るために犠牲となった（オ）を差し引くことによって明らかにされます。

【選択肢】

- | | | | | |
|-------------|---------|---------|----------|-------|
| 1. ア. 貸借対照表 | イ. 財産状態 | ウ. 運用状態 | エ. 収支計算書 | オ. 費用 |
| 2. ア. 収支計算書 | イ. 運用状態 | ウ. 調達源泉 | エ. 損益計算書 | オ. 費用 |
| 3. ア. 損益計算書 | イ. 財産状態 | ウ. 借入状況 | エ. 収支計算書 | オ. 支出 |
| 4. ア. 貸借対照表 | イ. 運用状態 | ウ. 調達源泉 | エ. 損益計算書 | オ. 費用 |
| 5. ア. 損益計算書 | イ. 運用状態 | ウ. 財産状態 | エ. 貸借対照表 | オ. 支出 |

問題 2 次の記述のうち、誤っている番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 複式簿記における取引は、必ず「取引の二重性」と「貸借平均の原理」を充足する。
2. 複式簿記の取引要素にはその性質に応じて8要素ある。
3. 貸借平均の原理とは、複式簿記における取引要素の結合関係は借方要素と貸方要素が1対1とは限らないが、借方の金額合計と貸方の金額合計が必ず一致することをいう。
4. 損益計算書の当期純利益と貸借対照表の当期純利益は異なるものである。
5. 取引の二重性とは、複式簿記における取引を原因と結果の2つの面からとらえ、必ず借方と貸方の2面において変動することをいう。

問題 3 千葉商店の取引は以下の通りである。現金勘定の貸方合計と普通預金勘定の借方合計として正しい金額の番号を一つ選びなさい。

4月5日	現金 3,000,000 円と土地 1,000,000 円を元入れして経営を開始した。
4月8日	JA の普通預金口座に現金 1,000,000 円を入金した。
4月9日	土壌を改良するために肥料 80,000 円を購入し、代金は掛けとした。
4月11日	JA から設備資金として 2,300,000 円を借り入れ、普通預金に振り込まれた。
4月13日	軽トラック 400,000 円とトラクター 1,300,000 円を取得し、現金で支払った。
4月15日	キャベツの苗 40,000 円と玉ねぎの苗 30,000 円を現金で購入した。
5月20日	農薬 70,000 円を現金で購入した。
8月10日	キャベツと玉ねぎを 460,000 円で販売し、100,000 円は現金で受け取り、残額は掛けとした。
9月20日	売掛金の残額すべてが販売手数料 20,000 円を控除されて、普通預金に入金された。
9月25日	パートで雇っている方へ給与 45,000 円を現金で支払った。

【選択肢】

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 現金 (貸方合計) 2,885,000 | 普通預金 (借方合計) 3,640,000 |
| 2. 現金 (貸方合計) 2,785,000 | 普通預金 (借方合計) 3,660,000 |
| 3. 現金 (貸方合計) 2,840,000 | 普通預金 (借方合計) 3,300,000 |
| 4. 現金 (貸方合計) 1,885,000 | 普通預金 (借方合計) 3,640,000 |
| 5. 現金 (貸方合計) 5,885,000 | 普通預金 (借方合計) 3,300,000 |

問題 4 次の【資料】に基づいて期末の資産総額がいくらになるか、正しい番号を一つ選びなさい。

【資料】

期末の負債総額	2,500,000 円
期首の資本金	4,000,000 円
当期の収益総額	5,000,000 円
当期の費用総額	3,500,000 円

【選択肢】

- 3,000,000 円
- 6,000,000 円
- 6,500,000 円
- 8,000,000 円
- 9,000,000 円

問題 5

下記に収益にかかる取引の代表的な仕訳例を列挙した。(ア)～(オ)にあてはまる勘定科目の組み合わせのうち、正しい組み合わせとなる番号を一つ選びなさい。

(1) JAへの委託販売

- ① JAに対し米300俵の出荷を契約し、契約金として2,000,000円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金 2,000,000 (貸) (ア) 2,000,000

- ② 契約に基づき米300俵を出荷し、売上代金6,000,000円のうち契約金として入金されていた2,000,000円を控除した残額の4,000,000円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金 4,000,000 (貸) (イ) 6,000,000
(ア) 2,000,000

(2) 売上値引

先に野菜を販売した千代田商店から、傷みの激しい部分があったことから10,000円の値引きを要求された。その金額10,000円について、売掛金から差し引くよう求められた。

(借) (ウ) 10,000 (貸) 売掛金 10,000

(3) 補助金収入

水田転作を支援するための交付金800,000円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金 800,000 (貸) (エ) 800,000

(4) 家事消費取引

収穫したぶどうを、親戚に贈答用として送った。この時の見積価格は8,000円だった。

(借) 資本金 8,000 (貸) (オ) 8,000

【選択肢】

- | | | | | |
|--------------|----------|----------|-----------|----------|
| 1. ア. 水稲売上高 | イ. 売掛金 | ウ. 野菜売上高 | エ. 作業受託収入 | オ. 農産物 |
| 2. ア. 前受金 | イ. 水稲売上高 | ウ. 野菜売上高 | エ. 作付助成収入 | オ. 果実売上高 |
| 3. ア. 作付助成収入 | イ. 売掛金 | ウ. 野菜売上高 | エ. 前受金 | オ. 果実売上高 |
| 4. ア. 水稲売上高 | イ. 水稲売上高 | ウ. 現金 | エ. 作付助成収入 | オ. 農産物 |
| 5. ア. 前受金 | イ. 水稲売上高 | ウ. 現金 | エ. 前受金 | オ. 果実売上高 |

問題 6 次の文章の**ア～エ**の記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

ア. 前期において育成中の繁殖牛に使用した費用は飼料代が 1,100,000 円、家畜薬代が 240,000 円であった。当期においてすべて成熟期に達したため、下記の仕訳を行った。

(借) 生 物 1,340,000 (貸) 育成費振替高 1,340,000

イ. 前期において育成中の繁殖牛に使用した費用は飼料代が 850,000 円、家畜薬代が 170,000 円であった。当期においてすべて成熟期に達したため、下記の仕訳を行った。

(借) 生 物 1,020,000 (貸) 飼 料 費 850,000
農 薬 費 170,000

ウ. 畑の造成を行い、造成費用 850,000 円を現金で支払った。このとき、下記の仕訳を行った。

(借) 土 地 850,000 (貸) 現 金 850,000

エ. 当期において育成中の繁殖牛に使用した費用は飼料代が 2,170,000 円、家畜薬代が 350,000 円であったため、決算において下記の仕訳を行った。

(借) 育成仮勘定 2,520,000 (貸) 育成費振替高 2,520,000

【選択肢】

1. アイ 2. アウ 3. アエ 4. イエ 5. ウエ

問題 7 次の記述のうち、誤っている番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 農作業用に機械を取得し、運送保険料、試運転費を含めて取得価額とした。
2. 生産活動を行っている状態の家畜や果樹は、減価償却の対象となる。
3. 育成中の繁殖牛に使用した費用の額は、繁殖牛が成熟するまでは育成仮勘定に蓄積して、資産計上する。
4. 生物として計上されるものは、収益を生み出すために使用されている資産である。
5. 育成仮勘定は、資産科目であるため減価償却の対象となる。

問題 8 次のア～エの記述のうち、正しいものが二つある。その記号の組み合わせの番号を一つ選びなさい。

ア. 帳簿価額 200,000 円の繁殖豚を 220,000 円で売却した。なお、売却代金は、JA 手数料の 12,500 円を差し引いた金額が普通預金へ入金された。

(借) 普通預金	207,500	(貸) 生物	200,000
販売手数料	12,500	固定資産売却益	20,000

イ. 帳簿価額 900,000 円の機械を 1,150,000 円で売却し、代金は普通預金へ振り込まれた。

(借) 普通預金	1,150,000	(貸) 機械装置	900,000
		固定資産売却益	250,000

ウ. 帳簿価額 170,000 円の搾乳牛を 260,000 円で売却した。なお、売却代金は、JA 手数料の 8,000 円を差し引いた 252,000 円が普通預金に入金された。

(借) 普通預金	252,000	(貸) 生物売却収入	260,000
販売手数料	8,000		
(借) 生物売却原価	170,000	(貸) 生物	170,000

エ. 帳簿価額 400,000 円の車が不用となり 300,000 円で売却し、現金を受け取った。

(借) 現金	300,000	(貸) 固定資産売却益	300,000
--------	---------	-------------	---------

【選択肢】

1. アイ 2. アウ 3. イウ 4. イエ 5. ウエ

問題 9 次の記述のうち、正しい番号を一つ選びなさい。

春キャベツを作付けし、来年の春の収穫を予定している。この作付けにかかる費用として種苗費 280,000 円、肥料費 900,000 円、農薬費 178,000 円を消費しており、それぞれの費用勘定に計上している。12 月末に決算を迎えた。

【選択肢】

1. 決算にあたり、1,358,000 円を農産物として資産計上した。
2. 決算にあたり、1,358,000 円を原材料として資産計上した。
3. 決算にあたり、1,358,000 円を仕掛品として資産計上した。
4. 決算にあたり、1,358,000 円を貯蔵品として資産計上した。
5. 決算にあたり、1,358,000 円を生物として資産計上した。

問題 10～17

次の〔資料1〕および〔資料2〕に基づき12月31日現在の残高試算表を作成した場合について、以下の設問（問題10～17）に答えなさい。（決算は年1回 12月31日）

〔資料1〕1月1日現在の残高試算表

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	540,000	買 掛 金	1,257,000
普 通 預 金	2,257,000	借 入 金	1,500,000
売 掛 金	3,070,000	資 本 金	5,500,000
原 材 料	180,000		
建 物	1,590,000		
機 械 装 置	200,000		
車 両 運 搬 具	300,000		
土 地	100,000		
出 資 金	20,000		
	8,257,000		8,257,000

〔資料2〕1月1日から12月31日までに行った取引

1. 前年度に掛販売した野菜の代金3,070,000円が普通預金に振り込まれた。
2. 前年度の掛仕入の残金1,257,000円を普通預金より支払った。
3. 耕作機械・農地等につき課された固定資産税124,000円を現金で支払った。
4. 農作業に従事する方への賃金は530,000円であった。支払いに際し、源泉所得税12,500円を差し引き、残額は普通預金から支払っている。
5. 上記4で預かった源泉所得税12,500円を、普通預金より支払った。
6. 従業員の親族への香典代として現金10,000円を支払った。
7. 種苗479,000円を購入し、代金は後日払いとした。
8. 肥料703,000円を購入し、代金は後日払いとした。
9. 農薬233,000円を購入し、代金は後日払いとした。
10. 買掛金1,000,000円を普通預金より支払った。
11. 農協から2,000,000円を借り入れ、利息分30,000円を差し引き普通預金に入金された。
12. 野菜移植機を2,930,000円で購入し、代金のうち1,930,000円は普通預金より支払い、残額は翌年払いとした。
13. 野菜を出荷し、売上代金3,780,000円は掛とした。

14. 上記 13 で出荷した野菜に破損があったことから 110,000 円の値引き（売上高の減少で処理）をした。
15. 商品券 5,000 円を現金で購入して、仕入先へ贈答した。
16. 野菜を市場において 145,500 円で販売し、現金で受け取った。
17. 農業資材（諸材料費）170,000 円を現金で購入した。
18. 農具 151,000 円を現金で購入した。なお、購入した農具はすべて 1 組 100,000 円未満のものである。

残高試算表

平成××年 12 月 31 日

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	(ア)	買掛金	
普通預金		未払金	
売掛金	(イ)	借入金	(カ)
原材料		資本金	
建物		野菜売上高	(キ)
機械装置	(ウ)		
車両運搬具			
土地			
出資金			
種苗費			
肥料費			
農薬費			
諸材料費			
賃金手当	(エ)		
(オ)			
租税公課			
福利厚生費			
交際費			
支払利息			
			(ク)

問題 10 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 85,000 2. 115,500 3. 213,000 4. 215,500 5. 225,500

問題 11 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 3,670,000 2. 3,780,000 3. 3,815,500 4. 3,870,000 5. 3,925,500

問題 12 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 200,000 2. 1,200,000 3. 2,130,000 4. 3,130,000 5. 4,520,000

問題 13 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 517,500 2. 530,000 3. 535,000 4. 540,500 5. 542,500

問題 14 (オ) に記入する勘定科目として、最も適切な勘定科目の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 農具費 2. 作業用衣料費 3. 修繕費 4. 諸材料費 5. 作業委託費

問題 15 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,500,000 2. 3,470,000 3. 3,500,000 4. 3,530,000 5. 4,500,000

問題 16 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 140,500 2. 3,780,000 3. 3,815,500 4. 3,910,500 5. 3,925,500

問題 17 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 5,973,500 2. 10,450,500 3. 10,463,000 4. 14,120,500 5. 14,230,500

問題 18～25

次の期末修正事項に基づき精算表を作成した場合について、以下の設問（問題 18～25）に答えなさい。（決算は年1回、12月31日）

期末修正事項

- 1) 期末に農産物の実地棚卸しをしたところ、水稻が 378,000 円、大豆が 20,000 円であった。
- 2) 期末に原材料の実地棚卸しをしたところ、種苗が 42,000 円、肥料が 95,000 円であった。
- 3) 売掛金の期末残高に対し、5.5%の貸倒れを見積もる。なお、洗替法により処理する。
- 4) 減価償却を税法の定めに従い次のとおり行なう。

資産名	取得価格	耐用年数	償却方法	償却率	期首の減価償却累計額
建 物	2,500,000円	24年	定額法	0.042	481,250円
機 械 装 置	1,800,000円	7年	定額法	0.143	321,750円
器 具 備 品	940,000円	10年	定額法	0.100	282,000円

- 5) 支払地代のうち 240,000 円は小作料 2 年分の支払いであり、うち当期に係る小作料は 120,000 円であった。
- 6) 修繕費のうち、機械保守料に対する未払分が 58,000 円ある。
- 7) 賃貸料収入のうち、草刈機の貸付料に対する未収分が 32,000 円ある。
- 8) 雑収入のうち、110,000 円は次期に繰延べする。

精 算 表

平成××年 12 月 31 日

(単位：円)

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	323,500							
普通預金	1,610,000							
売掛金	620,000							
農産物	343,000							
原材料	112,000						(ア)	
建物	2,500,000							
機械装置	1,800,000							
器具備品	940,000							
土地	870,000							
買掛金		834,000						
借入金		3,750,000						
貸倒引当金		35,200						
減価償却累計額		1,085,000						
資本金		1,000,000						
売上高		8,856,000						
受取利息		800						
賃貸料収入		360,000				(イ)		
雑収入		1,873,000						
種苗費	408,500							
肥料費	1,923,000							
農薬費	1,635,000							
賃金手当	1,987,000							
農具費	344,500							
修繕費	479,500							
賃借料	251,000							
支払地代	1,620,000				(ウ)			
支払利息	27,000							
	17,794,000	17,794,000						
期首農産物棚卸高								
期末農産物棚卸高						(エ)		
期首材料棚卸高								
期末材料棚卸高								
貸倒引当金戻入								
貸倒引当金繰入					(オ)			
減価償却費					(カ)			
前払費用								
未払費用								(キ)
未収収益								
前受収益								
当期純()					(ク)			

問題 18 (ア) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 25,000 2. 112,000 3. 137,000 4. 249,000 5. 398,000

問題 19 (イ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 282,000 2. 328,000 3. 360,000 4. 390,000 5. 392,000

問題 20 (ウ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,380,000 2. 1,500,000 3. 1,560,000 4. 1,620,000 5. 1,740,000

問題 21 (エ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 55,000 2. 343,000 3. 378,000 4. 398,000 5. 741,000

問題 22 (オ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 18,865 2. 31,000 3. 34,100 4. 35,200 5. 69,300

問題 23 (カ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 224,740 2. 371,800 3. 410,760 4. 456,400 5. 1,401,400

問題 24 (キ) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 32,000 2. 58,000 3. 110,000 4. 120,000 5. 537,500

問題 25 (ク) に記入する金額として、最も適切な金額の番号を一つ選びなさい。

【選択肢】

1. 1,783,000 2. 1,959,000 3. 2,023,000 4. 2,139,000 5. 2,243,000